

令和8年9月25日

▼タイトル

「茂山千五郎家公演 おおわらい狂言」を開催します。

▼概要

茂山千五郎家がお届けする狂言公演。

人間国宝である茂山七五三と茂山逸平の「連吟」や、田舎者と詐欺師の滑稽なやりとりを描いた「仏師」など、笑い溢れる伝統芸能の世界をお楽しみいただけます。

公演のはじめに演目のあらすじや見どころの解説がありますので、初めての方もお気軽にご来場ください。

▼期 間 令和8年10月18日（日） 13：30開場 14：00開演

▼場 所 ガリバーホール （高島市勝野670）

▼演目・出演者

解説：茂山 宗彦

千鳥 太郎冠者 ： 茂山 逸平
 主人 ： 井口 竜也
 酒屋の亭主： 松本 薫
 後見 ： 鈴木 実

連吟 茂山 七五三
 茂山 逸平

仏師 仏師 ： 茂山 宗彦
 田舎者 ： 鈴木 実
 後見 ： 井口 竜也

▼料 金 一般 2,000 円、18 歳以下 1,000 円（当日 500 円増）
 全席自由席、未就学児入場不可

▼チケット販売所 ガリバーホール、藤樹の里文化芸術会館、高島市民会館

▼主 催 高島市教育委員会

▼問い合わせ先

- 所 属 ： 高島市文化ホール
- 担 当 ： 花田
- 電話番号： 0740（36）0219 ○ファックス： 0740（36）1909

おわ おい 狂言

茂山千五郎家 公演

仏師

仏師…茂山宗彦
田舎者…鈴木実
後見…井口竜也

連吟

茂山七五三
茂山逸平

千鳥

太郎冠者…茂山逸平
主人…井口竜也
酒屋の亭主…松本薫
後見…鈴木実

解説

茂山宗彦

2026 [sun] 10/18
開場13:30 / 開演14:00
ガリバーホール
主催：高島市教育委員会

チケット料金

一般 2,000 円

18 歳以下 1,000 円

当日 500 円増 / 全席自由席
未就学児入場不可

チケット発売所

ガリバーホール (0740-36-0219)

藤樹の里文化芸術会館 (0740-32-2461)

高島市民会館 (0740-22-1764)

8月1日 9:00 発売開始 電話取り置き可

※都合により公演内容・出演者等が変更になる場合がございます。



しげやま
いっぺい
茂山 逸平

1979年生。二世茂山七五三の次男。
4才の時「業平餅」の童にて初舞台。
「狂言季期」「Cutting Edge KYOGEN」の他にも
日本舞踊、尾上流家元三代目尾上菊之丞と「逸青
会」を主宰し伝統芸能の枠組みの中で交流を深化
させた。また海外公演にも積極的に参加している。
伝統芸能だけではなくNHK朝のテレビ小説「京、
ふたり」「カーネーション」「ごちそうさん」や舞台
などにも多数出演。



しげやま
もとひこ
茂山 宗彦

1975年生。二世茂山七五三の長男。
4才の時「以呂波」のシテにて初舞台。
過去には「花形狂言少年隊」「狂言小劇場」「TOPPA!」
「HANAGATA」などを主宰し、若者を中心とした
観客に熱烈な支持を得た。現在は「Cutting Edge
KYOGEN」を主宰し、狂言の魅力を伝え、お客様
にも楽しんでいただける公演を目指している。NHK
朝のテレビ小説「ちりとてちん」「おちょやん」など
テレビドラマやミュージカルなどにも多数出演。



しげやま
しめ
茂山 七五三

1947年生。四世茂山千作の次男。
1995年二世茂山七五三襲名。
4才の時「業平餅」の子方にて初舞台。
1976年兄 五世千作、従兄弟 あきらと「花形狂言会」
を発足。自分達の活動の拠点として古典は勿論の
こと秘曲の復曲、新作狂言の上演等を積極的に行
なってきた。近年は桂米朝一門を巻込み「お米とお
豆腐」を立ち上げ、新たな試みにも挑戦した。クセ
のない素直で堅実な演技に好感を持つ人は多い。
2023年重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定。

お
お
わ
ら
い
狂言

茂山千五郎家がお届けする狂言公演。
笑い溢れる伝統芸能の世界をぜひお楽しみください。



すずき
みのる
鈴木 実

1978年生。2006年茂山千三郎に入門、師事。
同年「棒縛」にて初舞台。2021年茂山七五三に師事。
2011年同門たちと「五笑会」を発足。観客を惹き
込む狂言のレクチャー、解説には定評がある。



いぐち
たつや
井口 竜也

1976年生。2003年十三世茂山千五郎(五世千作)
に入門、師事。同年「しびり」のシテにて初舞台。
2011年同門の島田 洋海・増田 浩紀・鈴木実・山下
守之と「五笑会」を発足。自分たちの修行の場と
して年4回の公演を行なっている。



まつもと
かおる
松本 薫

1951年生。1974年四世茂山千作に入門、師事。
1974年「瓜盗人」のアドにて初舞台。1984年同
門の網谷 正美・丸石やすしと「三笑会」を結成。
年齢を重ねトレードマークの笑い顔と共に親近感
溢れる舞台でファンの心をつかんでいる。日々自分
自身の狂言を研究、精進を続けている。



仏
師

自宅に持仏堂を建てた田舎者。そこに納める仏像を買い求めに都へ行きます。
しかし、なかなか仏師を見つけることが出来ません。そこに現れたのが
都のすっぱ。自分は仏師だと嘘をつき、仏像は翌日出来上がるから取りに來
るよう言います。翌日、田舎者が出来上がった仏像を拝みにいくと、なにやら
印相がおかしい仏像がそこにはあり…。

すっぱとは詐欺師のことで、偽物を渡して儲けようとする詐欺師は狂言に
多く登場します。また印相(いんそう)とは仏像のポーズのことで、仏様の
種類によって、それぞれ決まりがあるそうですが、この狂言では役者のオリ
ジナルの印相が登場します。



千
鳥

太郎冠者は主人から酒屋へ行き、酒を買ってくるように命じ
られます。しかし、酒屋への付けがたくさん溜まっているため、
酒屋は酒を売ってくれません。なんとかして酒を持って帰ろうと、
太郎冠者は津島祭の話をして機会をうかがいますが…。

隙を見て酒を手に入れようと、太郎冠者が祭りの様子を身振り
を交えて演じるところが見所の狂言です。津島祭とは愛知県の
津島神社のお祭りで500年余りの歴史を持つ荘厳・華麗な川祭
です。



お問い合わせ
ガリバーホール

滋賀県高島市勝野 670
tel: 0740-36-0219



駐車場 135 台 車イス席
主催: 高島市教育委員会

2026 [sun] 10/18

開場 13:30 / 開演 14:00

ガリバーホール

チケット料金

一般 2,000 円
18 歳以下 1,000 円
当日 500 円増 / 全席自由席
未就学児入場不可

チケット発売所

ガリバーホール (0740-36-0219)
藤樹の里文化芸術会館 (0740-32-2461)
高島市民会館 (0740-22-1764)
8 月 1 日 9:00 発売開始 電話取り置き可